

81 桑園内ヒカリギセルの繁殖に及ぼす産卵保護資材の効果

福島県蚕業試験場栽桑部・平成12年度蚕業試験場年報

- 1 部門名 蚕糸－その他－資源利用 分類コード 09-99-65000000
2 担当者 長谷川茂雄・土井則夫
3 要旨

ヒカリギセルの成育と繁殖については室内及び桑園内で飼育試験を実施してきたが、室内で確認された産卵数に比べ桑園内の繁殖率はかなり低い。これはヒカリギセルの習性で、産卵直後に共食いすることが大きく影響していると思われる。そこで産卵直後の卵を共食いから防ぐのに有効と思われる資材を用いて繁殖率を向上させる方法を検討した。

(1)立通し桑園を使用し、餌等は1㎡当たり桑廃条10Kg、稲わら5Kg、炭カル0.2Kgを入れ、その間に各種の産卵保護資材を入れた。

(2)産卵保護資材には篠竹、かや、稲わらをそれぞれ3cmの長さに切り1㎡当たり3Kgを入れた。

(3)そこにヒカリギセルの成員を5月に100個体放し、12月に桑園から採取し成員数及び幼貝数とその大きさを調査した。

(4)その結果、産卵保護資材を入れない対照区の繁殖割合は放貝数に対し420%であったが、産卵保護資材を入れた各区は篠竹区992%、かや区750%、稲わら519%であり、いずれも対照区より優った。

(5)特に篠竹区、次いで、かや区が良く、これらの資材が産卵に適した穴の大きさのために成員や幼貝による卵の共食いを防いだものと思われる。